

## 先人の活動について学ぶ小学校社会科授業の提案

### —大分県の先人を事例として—

甘 利 弘 樹\*

(令和6年2月15日受理)

**【要 旨】** 本論文は、小学校社会科における先人について学ぶ授業について分析するものである。当該の分析を通して、多様な教材を活用した新たな授業方法が見いだされた。

### I はじめに

本論文は、小学校社会科における先人について学ぶ授業について分析するものである。

先人について学ぶ授業は、主に小学校4年の社会科で行われる。先人を取り扱う意味や目的は小学校学習指導要領に記載されている（後述）とおりが、先行事例が決して多くない<sup>1)</sup>。

しかし学習指導要領に通底する郷土愛・愛国心の涵養や自分事としての学びの深まりの点において、先人についての学びは一層の深化が望まれると考えられる。

以下、本論文では、先人について学ぶ授業を行う背景として、先人について書かれた小学校学習指導要領社会科第4学年の事項及び小学4年生の社会科教科書の事項を考察した上で、大分県の先人を取り上げた学習指導案を示すこととする。

### II 分析と考察

#### 1. 小学校学習指導要領社会科第4学年について

##### 1. — (1) 「目標」

まず「目標」の全文を提示する。

(1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色，地域の人々の健康と生活環境を支える働きや災害から地域の安全を守るための諸活動，地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるように

---

\* あまりひろき 大分大学教育学部初等中等教育コース

する。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う<sup>2)</sup>。

このうち(1)については、『小学校学習指導要領解説社会編』(以下、「解説」と表記)において、地域の発展に尽くした先人の働きについて理解するに当たり、県内の文化財や年中行事は地域の人々の願いが込められ受け継がれていることや、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により生活の向上に貢献したことなどを理解できるようにすること、また地域の発展に尽くした先人の働きにおいて、地域の人々の生活との関連を考えることを通して、地域における社会生活について理解できるようにすることが求められている。

さらに地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるために、見学や観察、聞き取り調査などの調査活動や、地図帳や地域の平面地図や立体地図、写真、実物などの具体的資料を通して調べることが求められており、これらの調査活動や資料を通して、学習問題の追究・解決に必要な情報を集め、読み取り、白地図や年表などにまとめる技能を身に付けるようにすることが示されている。

また(2)については、社会的事象の特色や相互の関連について思考・判断・表現する力を養うために、地域の発展に尽くした先人の働きなどを考える力を養うようにすることが挙げられている。(3)については、「解説」に先人に関する特記事項がないため、言及しない<sup>3)</sup>。

## 1. — (2) 内容・内容の取扱い

まず「内容」に書かれた先人の学習に関して説明する箇所を挙げる。

(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること<sup>4)</sup>。

一瞥してわかるように、ア―(イ)及びイ―(イ)において、先人について学ぶ際の理解内容、身に付ける技能内容及び思考・表現内容が記載されている。

このうち理解内容については「解説」に、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、

見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにすること、及び開発、教育、医療、文化、産業などにおいて地域の発展に尽くした先人について、それらの先人は様々な苦心や努力を重ね業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、先人の働きについて理解することが挙げられている<sup>5)</sup>。

この理解内容から、開発、教育、医療、文化、産業などのカテゴリーから対象となる先人を設定し、考察する必要があることがわかる。

なお、「内容の取扱い」では、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、用水路の開削や堤防の改修、砂防ダム建設、農地の開拓などを行って地域を興した人、藩校や私塾などを設けて地域の教育を進展させた人、新しい医療技術等を開発したり病院を設立したりして医学の進歩に貢献した人、新聞社を興すなど文化を広めた人、地域の農業・漁業・工業などの産業の発展に尽くした人など、「開発、教育、医療、文化、産業など」の面で地域の発展や技術の開発に尽くした先人の具体的事例の中から一つを選択して取り上げることが考えられる、としている<sup>6)</sup>。

また、身に付ける技能内容については、

見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。このことは、県内の伝統や文化、先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめることである。ここでは、博物館・資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能などを身に付けるようにすることが大切である<sup>7)</sup>。

とある。

思考・表現内容については、

- ①見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。このことは、県内の伝統や文化、先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめることである。ここでは、博物館・資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能などを身に付けるようにすることが大切である。
- ②当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現する。このことは、社会的事象の見方・考え方を働かせ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について、例えば、当時の人々の生活や世の中にはどのような課題があったか、人々は何のような願いをもっていたかなどの問いを設けて調べたり、先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することである。
- ③当時の世の中の課題に着目する。このことは、先人が活躍した当時の世の中の様子や先人の働きが必要とされた背景について調べることである。
- ④人々の願いに着目する。このことは、当時の人々の生活の向上や地域の発展への願いと先人

の苦心や努力を関連付けて調べることである。このようにして、調べたことを手掛かりに、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉えることができるようにする。

- ⑤先人の働きを考え、表現するとは、例えば、先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、文章で記述したり、年表などにまとめたことを基に話し合ったりすることである。実際の指導に当たっては、文化財や年中行事については、それらを保存したり継承したりしている人々から直接話を聞く活動などが考えられる。また、先人の働きについては、先人が用いた道具や技術に見られる工夫、実際の取組の様子、当時の社会に与えた影響などを調べる活動などが考えられる<sup>9)</sup>。

以上の内容から、思考・表現に当たっては、取り上げる先人の具体的事例を捉えることが求められている。このことは、道徳科における先人の捉え方<sup>9)</sup>と異なっており、留意したい点である。また、先人のみを考察するのではなく、先人のいた社会や先人の活躍する背景を追究する必要があることがわかる<sup>10)</sup>。

## 2. 教科書の分析

小学校社会科第4学年教科書3社の各内容（小単元テーマ）を示すと、次の通りとなる。

### ○教育出版

昔から今へと続くまちづくり

米がほしいけれど

見沼代用水と井沢弥惣兵衛 図書館で調べよう

どうやって水を引いた？ 博物館で調べよう①

ふたてに分かれた用水路 博物館で調べよう②

どのようにして工事は行われた？

調べてきたことを整理しよう

もっと知りたいな、弥惣兵衛

そして、ゆたかな土地に

未来に残そう、みんなの見沼

昔と今を地図でつなげよう

「せんたく」

地域に学校をひらく 小笠原東陽

地域の人々を病気から救う 杉浦健造、杉浦三郎

沖縄の文化のよさを伝える 伊波普猷

北海道で、いねを実らせる 中山久蔵

### ○東京書籍

谷に囲まれた台地に水を引く 石でできた橋 布田保之助

人々の願い

用水路としての通潤橋

水を送るくふう

石の管と橋の形のくふう

じょうぶな橋にするために 橋本源五郎（石工）

人々のくらしの変化

熊本地震と通潤橋

表彰式をしよう

「ひろげる」

地いきで学校をつくる 京都市／学校歴史博物館

地いきの医りょうにつくす 華岡青洲

地いきの文化を受けつぐ 高木健八 勝部本右衛門栄忠・景浜

地いきの産業をおこす 江頭杉太郎

○日本文教出版

地いきの発てんにつくした人々 栃木の4人

1 原野に水を引く

川の下を通る水

昔の那須野原と原野の開こん

人々の苦勞と水への強い願い

那須疏水のしせつを見学する

国と県へのはたらきかけ 印南丈作・矢板武

工事のくふう 暮らしの変化 最近の総合開発

「せんたく」

産業をゆたかにする 手結港を開いた野中兼山

港の建設とその後

自然を守る運動 南方熊楠を知る

自然を守る

村の立て直しにつくす

農村の立て直し 二宮金次郎（尊徳）

医りょうにつくす 日本の女医第一号 荻野吟子

わたしたちの学びを生かそう 今も続いている技術 水と緑の玉川上水

これらの内容から、次のことがわかる。

① 3社の教科書はいずれも、水路を整備した先人を取り上げる時間が8～11時間、その他の個別の先人の学習時間（「せんたく」あるいは「ひろげる」）が4～8時間で設定されている。

② 「せんたく」・「ひろげる」では、開発、教育、医療、文化、産業のいずれかに関わる先人を取り上げている。ただし先人を概ね1～2時間で扱うようにしており、扱う先人は複数の県の複数の人物となっている。

③ 教育出版の教科書では、図書館・博物館における調査が組み込まれている。

以上のことをふまえつつ、次に大分県の先人に関する授業提案を行うこととする。

### 3. 学習指導案<sup>11)</sup>

(1) 題目：「先人の働き1」

(2) ねらい： 大分県内の郷土の発展に尽くした人物について調べることで、関心を持ち、今後の学習の見通しを持つ。

## (3)展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他	
3	1 郷土の発展に尽くした人物について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工藤三助の写真を掲示し、紹介する。</li> <li>・気づいたこと、知っていることがあるか児童に問いかける。</li> <li>・川の工事によって、水害を防いだ業績を説明し、地域の発展に尽くした人物であることを意識させる。</li> </ul>		
めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか				
5	2 学習課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工藤三助以外にも、水害対策をした人物がおり、彼らが偉人とされていることを説明する。</li> </ul>		
課題：大分県内で偉人とされている人々は、どのような働きをしたのだろうか				
10	3 3人の偉人について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工藤三助以外に小林久左衛門・小笠原長胤を挙げ、1人1人の「県のどこの出身か」・「いつの時代の人か」・「どんなことをしたか」の3つの視点で調べさせる。</li> </ul>	大分県農林水産部の農業水利偉人伝「工藤三助」・「小笠原長胤」・「小林久左衛門」に基づく資料	
3	4 調べたことを発表する。			
10	5 課題の答えをグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループとしての判断をその理由とともに考えさせる。</li> </ul>		
4	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で意見を共有させる。</li> </ul>		
7	7 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。</li> </ul>		
まとめ：大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。				
3	8 次回についての確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回で郷土の発展に尽くした人物をさらに追究することを理解させる。</li> </ul>		

(1) 題目：「先人の働き2」

(2)ねらい：資料から工藤三助について調べ、大分市の水害対策を行い、人々の思いにこたえたことを理解し、表現する。

(3)展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていたことを確認させる。	
	めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか		
2	2 学習課題を知る。	・工藤三助の写真を提示し、水害対策をした人物として偉人とされていることを説明する。	
	課題：工藤三助は、どのような働きをした人なのだろうか		
8	3 工藤三助について調べる。	・年表・地図・資料から工藤三助の業績を調べさせる。	大分県農林水産部の農業水利偉人伝「工藤三助」に基づく資料
8	4 調べたことを発表する。	・年表から工藤が複数の水路をつくったことを、地図から水路の規模を、Tチャートにまとめさせる。	
8	5 水路がどのような目的で作られたのか、グループで調べて話し合う。		
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。	
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。	
まとめ：工藤三助は、大分市周辺の人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。			
3	8 次回についての確認	・次回で郷土の発展に尽くした人物をさらに追究することを理解させる。	

(1) 題目：「先人の働き3」

(2) ねらい：資料から小笠原長胤について調べ、中津市の水害対策を行い、人々の思いにこたえたことを理解し、表現する。

(3) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていたことを確認させる。	
めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか			
2	2 学習課題を知る。	・小笠原長胤の写真を提示し、水害対策をした人物として偉人とされていることを説明する。	
課題：小笠原長胤は、どのような働きをした人なのだろうか			
8	3 小笠原長胤について調べる。	・年表・地図・資料から小笠原長胤の業績を調べさせる。	大分県農林水産部の農業水利偉人伝「小笠原長胤」に基づく資料
8	4 調べたことを発表する。	・年表から小笠原が複数の水路をつくったことを、地図から水路の規模を、Tチャートにまとめさせる。	
8	5 水路がどのような目的で作られたのか、グループで調べて話し合う。		
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。	
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。	
まとめ：小笠原長胤は、中津市周辺の人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。			
3	8 次回についての確認	・次回で郷土の発展に尽くした人物をさらに追究することを理解させる。	



(1) 題目：「先人の働き4」

(2)ねらい：資料から小林久左衛門について調べ、佐伯市の水害対策を行い、人々の思いにこたえたことを理解し、表現する。

(3)展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他	
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていたことを確認させる。		
めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか				
2	2 学習課題を知る。	・小林久左衛門の写真を提示し、水害対策をした人物として偉人とされていることを説明する。		
課題：小林久左衛門は、どのような働きをした人なのだろうか				
8	3 小林久左衛門について調べる。	・年表・地図・資料から小林久左衛門の業績を調べさせる。	大分県農林水産部の農業水利偉人伝「小林久左衛門」に基づく資料	
8	4 調べたことを発表する。	・年表から小林が複数の水路をつくったことを、地図から水路の規模を、Tチャートにまとめさせる。		
8	5 水路がどのような目的で作られたのか、グループで調べて話し合う。			
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。		
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。		
まとめ：小林久左衛門は、佐伯市周辺の人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。				
3	8 次回についての確認	・次回で郷土の発展に尽くした人物をさらに追究することを理解させる。		

(1) 題目：「先人の働き5」

(2) ねらい：資料から広瀬久兵衛について調べ、大分県内複数地域の水害対策を行い、人々の思いにこたえたことを理解し、表現する。

(3) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていたことを確認させる。	
めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか			
2	2 学習課題を知る。	・広瀬久兵衛の写真を提示し、水害対策をした人物として偉人とされていることを説明する。	
課題：広瀬久兵衛は、どのような働きをした人なのだろうか			
8	3 広瀬久兵衛について調べる。	・資料から広瀬久兵衛の業績を調べさせる。	・大分県農林水産部の農業水利偉人伝「広瀬久兵衛」に基づく資料 ・西江 1981・鶴野 2010・眞鍋 2018 に基づく資料
8	4 調べたことを発表する。	・年表から広瀬が複数の水路をつくったことを、地図から水路の規模を、Tチャートにまとめさせる。	
8	5 水路がどのような目的で作られたのか、グループで調べて話し合う。		
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。	
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。	
まとめ：広瀬久兵衛は、大分県内複数地域の人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。			
3	8 次回についての確認	・次回で郷土の発展に尽くした人物をさらに追究することを理解させる。	

(1) 題目：「先人の働き6」

(2)ねらい：資料から南一郎平について調べ、大分県内複数地域の水害対策を行い、人々の思いにこたえたことを理解し、表現する。

(3)展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていたことを確認させる。	
	めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか		
2	2 学習課題を知る。	・南一郎平の写真を提示し、水害対策をした人物として偉人とされていることを説明する。	
	課題：南一郎平は、どのような働きをした人なのだろうか		
8	3 南一郎平について調べる。	・資料から南一郎平の業績を調べさせる。	・大分県農林水産部の農業水利偉人伝「南一郎平」に基づく資料 ・大分県宇佐市2016に基づく資料
8	4 調べたことを発表する。	・年表から南が複数の水路をつくったことを、地図から水路の規模を、Tチャートにまとめさせる。	
8	5 水路がどのような目的で作られたのか、グループで調べて話し合う。		
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。	
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。	
まとめ：南一郎平は、大分県内複数地域の人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくしていた。			
3	8 次回についての確認	・次回で南一郎平をさらに追究することを理解させる。	

(1) 題目：「先人の働き7」

(2)ねらい：資料から南一郎平について調べ、大分県内複数地域の水害対策を行い、人々を豊かにしたことを理解し、表現する。

(3)展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価・その他
3	1 前時の復習	・前時のふりかえりとして、大分県の偉人は、人々の願いにこたえて郷土の発てんにつくっていたことを確認させる。	
めあて：きょう土の発てんにつくした人々は、地いきの人々に対し、どのようなことをしたのだろうか			
2	2 学習課題を知る。	・南一郎平の水害対策を具体的に理解するように説明する。	
課題：南一郎平の水路整備は、なぜ成功し、人々の生活はどのように変わったのだろうか			
8	3 南一郎平について調べる。	・資料から南一郎平の用いた技術(サイフォン方式)を調べさせる。	・大分県農林水産部の農業水利偉人伝「南一郎平」に基づく資料 ・大分県宇佐市2016に基づく資料
8	4 調べたことを発表する。	・サイフォン方式を、図解と口頭で説明させる。	
8	5 新しい水路によって人々の生活がどう変わったのか話し合う。	・資料から新しい水路によって農業生産が向上したことを気づかせる。	
8	6 グループごとの話し合った内容を発表する。	・グループとしての意見をその理由とともに発表させる。	
5	7 まとめ	・児童の発言をもとに、まとめの文章をクラス全員で検討する。	
まとめ：南一郎平は、新しい技術で水路をつくり、農民の生活を豊かにした。			
3	8 単元の学びをまとめ	・水路を整備した人々によって、大分県がどう変わったかを宿題でまとめさせる。	

### Ⅲ おわりに

以上本論文では、先人の活動を取り上げた授業について、学習指導要領、教科書の検討を行った上で、大分県の先人を取り上げた新しい授業を提案してきた。

今後は授業実践をふまえた提案内容の向上を期すとともに、大分県の教育、医療、文化、産業に関する分野での先人に関する授業提案<sup>12)</sup>を継続して模索することにした。

### 注

- 1) 先行事例では、阿部他 2019、北 2001、北他 2011、古川他 2000 が先人の活動を扱う授業提案を行っているが、教科書に基づいた中単元（先人の働きの単元）全体に関しては提案していない。澤井 2020 は中単元全体についての授業提案を行っており、玉川上水の開発を授業化している。なお、人物の見方・捉え方に関しては、玉井他 2006、西別府 1983、早川 1995、吉田 2003 等参照。
- 2) 「解説」 p.48。
- 3) 「解説」 pp.48-51。
- 4) 「解説」 p.62。
- 5) 「解説」 pp.62-63。
- 6) 「解説」 p.65。
- 7) 「解説」 p.63。
- 8) 「解説」 pp.63-64。
- 9) 道徳における先人の捉え方に関しては、小林 2021 参照。なお、本論文で後述する広瀬久兵衛については、大分県教育委員会による中学校道徳科での授業案が作成されている（大分県教育委員会 HP）。本論文で後述する広瀬久兵衛の授業案は、大分県教育委員会 HP を参照しつつ、小学校 4 年生社会科の授業として提案している。
- 10) 田本正一氏・田本嘉昭氏は、状況行為論というメソッドを用いて、先人とその時代を有機的につなげる授業を提案している。田本他 2017 参照。また千葉 2021 では、江戸期・近代・現代における「開発内容と規模」及び「技術進歩の差違」を次のページのようにまとめており、授業構成検討の際に有益である。
- 11) 以下の学習指導案では、「学習活動 1」に対応する「学習内容及び指導上の留意点」及び「めあて」が各回で同じものになっている。これらは暫定的に設定したもので、今後改定を行う予定である。
- 12) 大分県の医療に関わった先人に関する授業については、甘利 2014・2015・2016 参照。

「開発内容と規模」

江戸期	<p>上水・用水開発 堤防等の治水工事          ため池造成・干拓・埋め立て工事          道路・隧道開削・橋づくり          新田開発・耕地開発 森林保護          医療施設づくり          地場産業・特産品の産業育成</p>
近代	<p>大規模な河川治水工事 ダム・人造湖づくり          地下鉄を含む鉄道敷設と駅震災復興の街づくり          公共施設・文化財（建築等）の保護・保存・復興          地域産業の育成・発展          学校づくり 記念館・博物館・美術館・公園整備</p>
現代	<p>町・駅の再開発と新施設（スカイツリー・高層ビル等）          新都心開発 公共新施設（豊洲新市場等）          オリンピック施設開発 空港・港湾造成          新交通・新幹線網整備高速道路開発          防災施設 地下トンネル スーパー堤防          河川改修 原発 災害復興</p>

「技術進歩の差違」

○江戸期	→	<p>人力の道具使用による土木技術と資材調達          未熟な測量技術と知恵を生かした工夫の実際          公費に頼れない工事費用の工面の苦勞          願いの実現のための苦勞と困難を乗り越える努力の足跡</p>
○近代	→	<p>機械使用による工事 工法・測量技術の進歩          公共事業としての社会インフラ整備          交通網の整備と発展</p>
○現代	→	<p>高度に機械化した大規模工事          高度化・複雑化した工法・測量技術の進歩          環境アセスメントへの対応</p>

## 参考文献等

### ○教科書

『小学社会 4 年』日本文教出版 2019 年検定済・2022 年発行

『新しい社会 4』東京書籍 2019 年検定済・2022 年発行

『小学社会 4』教育出版 2019 年検定済・2023 年発行

### ○研究書・研究論文

阿部他 2019：阿部隆幸・板書型指導案研究会『全単元・全時間の流れが一目でわかる！ 365 日の板書型指導案 社会科 3・4 年』明治図書出版 2019 年

甘利 2014：甘利弘樹「医学史に関する授業デザインを試み（1）：大分県の地域教育における活用を目的として」『大分大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』31 2014 年 pp.135-150

甘利 2015：甘利弘樹「医学史に関する授業デザインを試み（2）：大分県の地域教育における活用を目的として」『大分大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』32 2015 年 pp.97-112

甘利 2016：甘利弘樹「医学史に関する授業デザインを試み（3）：大分県の地域教育における活用を目的として」『大分大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』33 2016 年 pp.113-128

大分県宇佐市 2016：大分県宇佐市編・瀬井恵介マンガ『宇佐学マンガシリーズ⑤ 日本三大疏水の父 南一郎平』梓書院 2016 年

小川 2009：小川晶久「歴史クイズー郷土史へ関心を持たせるための冊子作りー」『ふびと』 2 2009 年 pp.10-18

北 2001：北俊夫編著『楽しい社会科の授業づくり』東洋館出版社 2001 年

北他 2011：北俊夫・澤井陽介『新社会科 調べ考え表現する ワーク&学び方手引き 4 年』明治図書出版 2011 年

小林 2021：小林浩之「地域の先人を題材とした教材を活用し、道徳性を育成する道徳科指導のあり方」『道徳教育学研究』 2 2021 年 pp.77-89

澤井他 2020：澤井陽介・児玉大祐編著『板書で見る全単元・全時間の授業のすべて 社会 小学校 4 年』東洋館出版社 2020 年

玉井他 2006：玉井一行・吉田正生「新しい『歴史人物学習』のための授業開発ー現代社会のしくみと比較して学ぶ歴史人物学習の改善」『北海道教育大学教育実践総合センター紀要』 7 2006 年 pp.12-23

田本他 2017：田本正一・田本嘉昭「状況行為論に基づく『郷土の先人の働き』学習の開発：小学校社会科第 4 学年単元『成富兵庫茂安の治水事業』」『山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』 44 2017 年 pp.193-204

千葉 2021：千葉昇「小学校 4 年生社会科『伝統や文化、先人の働き』の教材開発」『初等教育論集』 22 2021 年 pp.45-54

鶴野 2010：鶴野博文「広瀬久兵衛の佐伯新開発田見分ー佐伯と日田二重三重の縁」『佐伯史談』 214 2010 年 pp.1-10

- 西江 1981 : 西江錦史郎「塩谷郡代による豊前・豊後の新田開発」『國土館大学政経論叢』56  
1981年 pp.34-50
- 西別府 1983 : 西別府元日「本県出身学生の郷土先人観と人物学習について」『大分縣地方史』  
112 1983年 pp.8-32
- 早川 1995 : 早川万年「社会科歴史における人物学習への取り組みについて」『岐阜大学教育  
学部研究報告 人文科学』43-2 1995年 pp.1-12
- 古川他 2000 : 古川清行・桑原利夫編著『わくわくどきどきチャレンジ社会科 小学校4年』東  
洋館出版社 2000年
- 眞鍋 2018 : 眞鍋松子「特別寄稿：広瀬久兵衛の府内藩財政改革『吉兆原の開拓』を支えた、  
新たな人物」『挟間史談』6 2018年 pp.25-38
- 吉田 2003 : 吉田正生「新しい「人物学習」の構想—制度・しくみを構想する力を育成するた  
めに」『社会科研究』58 2003年 pp.6-21

○参考 HP

大分県教育委員会「先人の生き方から学ぶ道徳の授業展開」

<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment>

大分県農林水産部農村整備計画課 <https://www.pref.oita.jp/soshiki/15950/>  
農業水利偉人伝

工藤三助 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/153000.pdf>

小笠原長胤 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/169812.pdf>

小林久左衛門 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/153007.pdf>

広瀬久兵衛 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/152999.pdf>

南一郎平 <https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/153003.pdf>

## Proposal of Lessons of the Activities of Foregoers in Elementary School

### Social Studies

— Case Study of Foregoers in Oita Prefecture —

Hiroki, AMARI

#### Abstract

The purpose of this study is to analyze challenges to foster teaching material development skills in elementary school social studies. Through the analysis, new teaching methods by utilizing of various learning materials were recognized.

Key words : elementary school social studies, the activities of foregoers, Oita Prefecture